

エコアクション21

環境活動レポート



2011年度

対象期間 平成 23年 6月 ～ 平成 23年 8月
(平成 23年 11月 1日 発行)



国治建設株式会社

代表取締役 福田 国治



目 次

- 【1】組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)
- 【2】対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
- 【3】環境方針
- 【4】環境目標
- 【5】環境活動計画
- 【6】環境目標の実績
- 【7】環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 【8】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無
- 【9】代表者による全体評価と見直しの結果



組織の概要・対象範囲

(1) 事業者名及び代表者名

国治建設株式会社

代表取締役 福田 国治

(2) 所在地

【本 社】 〒890-0031 鹿児島市武岡3丁目27番地9

【資材置場】 〒890-0035 鹿児島市田上7丁目20番地3

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

(環境管理責任者) 福田 伊佐子

(連絡先担当者) 今村 理英

【TEL】 099-282-0408 【FAX】 099-281-7588

【E-mail】 recycle@iris.ocn.ne.jp

(4) 事業の内容

・ 建設業(一般土木工事業)

許 可 番 号 鹿児島県知事許可(般-23) 第5874号

建設業種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 ほ装工事業

鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

・ オーディオ機器販売

(6) 事業の規模

設 立 年 月 日 1979年 7月 21日

資 本 金 1,000万円

完 成 工 事 高 20,575万円 (平成22年7月1日～平成23年6月30日)

従 業 員 数 9名

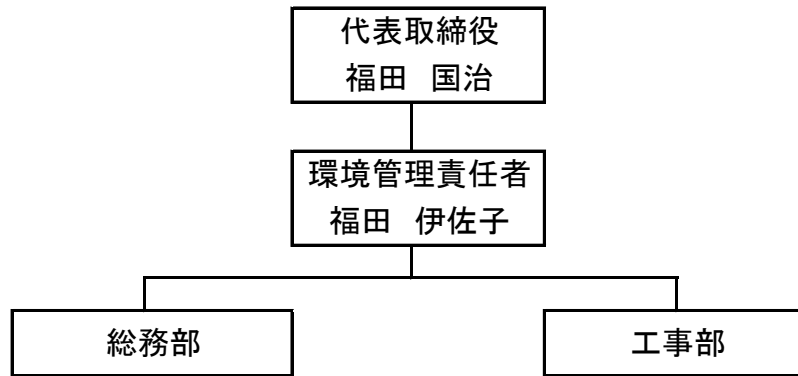
事 務 所 延 床 面 積 47m²

事 務 所 敷 地 面 積 150m²

資材置場敷地面積 423m²

事 業 年 度 7月 ～ 6月

(7) エコアクション21組織図



(8) 施設の状況

・ 2tダンプトラック	1台	(収集運搬車輛)
・ 油圧ショベル(0.25m ³)	1台	
・ タイヤショベル(0.35m ³)	1台	
・ 普通ワゴン	1台	
・ 軽ワゴン	2台	
・ 乗用車	2台	

(9) 環境関連技術取得状況

・ 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)収集運搬過程	
修了者【第510039086号】	1名
・ 安全運転管理者	1名
・ 一級土木施工管理技師	2名
・ 二級土木施工管理技師	4名

(10) 対象期間及び発行日

・ 対象期間	平成 23 年 6月 ~ 平成 23 年 8月
・ 発行日	平成 23 年 11 月 1 日

環境方針

環境基本理念

国治建設株式会社は、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、この豊かな自然環境を壊さないよう、全社員一丸となって積極的に環境保全活動に取り組み、地球の未来の環境を守り、次世代への継続と発展に貢献いたします。

環境行動指針

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷の削減に取り組みます。
 - ① 電気使用量、燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 建設工事で発生する、アスファルト塊・コンクリート塊のリサイクル率100%維持に努めます。
 - ③ 水資源の節減活動に努めます。
 - ④ 地域環境保全活動に努めます。
2. 当社の事業活動に関連する法規等を遵守します。
3. 全社員が環境保全活動に参加し、目標を定めて行動していきます。
4. この環境方針は社内掲示し、全社員に周知させると共に、一般に公表・開示し積極的に取り組みます。

平成23年 5月 31日

国治建設 株式会社

代表取締役 **福田 国治**

環 境 目 標

●中期目標として、前年度を基準年度に、3年間の目標設定を設けました。

項 目	単 位	平成22年度 (H22.4～ H23.3) 実績値	平成23年度 (H23.4～ H24.3) 目標値	平成24年度 (H24.4～ H25.3) 目標値	平成25年度 (H25.4～ H26.3) 目標値	基準値に 対する 目標削減 率
二酸化炭素排出量①	kg-CO2	4,239	4,197	4,155	4,113	-1%(年)
購入電力	kwh	11,489	11,374	11,260	11,147	-1%(年)
二酸化炭素排出量②	kg-CO2	37,654	37,277	36,905	36,532	-1%(年)
ガソリン	ℓ	6,751	6,683	6,617	6,550	-1%(年)
軽 油	ℓ	8,375	8,291	8,208	8,125	-1%(年)
灯 油	ℓ	15	15	15	15	-1%(年)
産業廃棄物排出量	t	921	—	—	—	100% 維持
リサイクル率	%	100	100	100	100	
総排水量削減	m ³	408	404	400	396	-1%(年)
地域活動(ボランティア)	回	3	5	5	5	毎年5回 に増やす



環境活動計画

① 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・室内温度が夏28℃以上、冬19℃以下になるように空調を設定する。
- ・不要な場所及び不在時、昼休み、退社時は消灯する。
- ・パソコンやコピー機を使用しない時には電源を消す。

(2) エコドライブの徹底

- ・アイドリングストップを実施する。
- ・タイヤ空気圧をこまめにチェックし、車輛の点検・整備を定期的実施する。
- ・出発前にしっかり目的地を把握し、過積載をしない。
- ・急発進、急加速、急停車、空ふかしをしない。
- ・エンジブレーキの積極使用。

② 廃棄物排出量の削減

(1) 産業廃棄物

- ・建設副産物(コンクリート殻・アスファルト殻)の削減、再利用に努める。
- ・必要以上に法面工事等の切削面を増やさないように努める。
(※法面＝土木工事で、切り土・盛り土などの斜面の傾斜。また、その斜面。)

(2) 一般廃棄物

- ・両面コピー、裏紙使用を徹底する。
- ・廃棄物を分別を徹底し、再資源化を推進する。

③ 水使用量の削減

- ・定期的に漏水を点検し、使用時はこまめに水量を調節する。
- ・雨水や残り水等を溜めて、打ち水や植物への水に再利用する。

④ 地域環境保全活動

- ・地域清掃活動等に積極的に参加する。



環境目標の実績

項 目	単 位	基準値に 対する 目標削減率 (1年あたり)	平成22年度 (H22.4～ H23.3) 基準値	平成22年度 (H22.4～ H23.3) 基準値÷4	平成23年度 (H23.6～ H23.8) 実績値	削減率
			平成23年度 (H23.4～ H24.3) 目標値	平成23年度 (H23.6～ H23.8) 目標値	増 減	評 価
二酸化炭素排出量①	kg-CO2	-1%	4,239	1,060	1,068	+ 0.8%
			4,197	1,049	8	△
購入電力	kwh	-1%	11,489	2,872	2,895	+ 0.8%
			11,374	2,844	23	△
二酸化炭素排出量②	kg-CO2	-1%	37,654	9,414	8,168	- 13.2%
			37,277	9,319	-1,246	○
ガソリン	ℓ	-1%	6,751	1,688	1,653	- 2.1%
			6,683	1,671	-35	○
軽 油	ℓ	-1%	8,375	2,094	1,650	- 21.2%
			8,291	2,073	-444	○
灯 油	ℓ	-1%	15	3.75	0	- 100.0%
			15	3.71	-3.75	○
産業廃棄物排出量	t	リサイクル率 100% 維持	921	-	52	100%
			921	-	52	維持
リサイクル率	%		100	100	100	○
総排水量削減	m ³	-1%	408	102	134	+ 31.4%
			404	101	32	×
地域活動(ボランティア)	回	毎年5回 に増やす	3	-	4	+1回
			5	年間5回	-	○

※上記の数値は、事務所と建設現場の合計数値である。

※購入電力CO2発生量は九州電力(株)の2009年度排出係数を用いて計算しました。



環境への負荷状況

●過去3年間（平成20年度～平成22年度）の実績把握を行いました。

項 目	単 位	平成20年度 (H20.4～ H21.3)	平成21年度 (H21.4～ H22.3)	平成22年度 (H22.4～ H23.3)
二酸化炭素排出量①	kg-CO2	3,972	4,108	4,239
購入電力	kwh	10,764	11,134	11,489
二酸化炭素排出量②	kg-CO2	39,764	50,518	37,654
ガソリン	ℓ	4,814	5,044	6,751
軽 油	ℓ	10,844	14,736	8,375
灯 油	ℓ	52	54	15
産業廃棄物排出量	t	—	—	921
リサイクル率	%	—	—	100%
総排水量削減	m ³	305	324	408
地域活動(ボランティア)	回	2回	2回	3回



環境活動の取組結果と評価

期間（平成23年6月～平成23年8月）

項 目		活動内容	取組結果	評 価	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	空調の適温化	徹底されていない	周知徹底するよう指示した	×
		不要な場所及び不在時、昼休み、退社時は消灯	わずかに増加してしまった	引き続き節電を指示	△
		パソコンやコピー機を使用しない時には電源を消す	実施されている	問題点なし	○
	燃料使用量の削減	アイドリングストップ	実施されている	持続するよう指導	○
		車輛の点検・整備等	車輛点検は確実に行われていない。	車輛担当者を決め点検するよう指導	△
		目的地把握・過積載禁止	徹底されている	問題点なし	△
		急発進、急加速、急停車、空ふかしをしない	一部、急加速がみられた	さらに意識して運転するよう指導	△
		エンジンブレーキ使用	実施されている	持続するよう指導	○
	アスファルト塊・コンクリート塊のリサイクル率100%維持	建設副産物削減再利用化	マニフェストを使用し実施されている	持続するよう指導	○
		必要以上に切削面を増やさない	実施されている	問題点なし	○
水使用量	使用時の水量調整	節水シールを貼ることにより節水がなされるようになった	より節約意欲を高めるよう指導	×	
	雨水などの再利用	再利用したが、降灰が多く水道水も使用した	より節約意欲を高めるよう指導	×	
地域環境保全活動		地域清掃活動等に積極的に参加する。	実施されている	ロードボランティア等、引き続き実施していく	○



環境関連法規等の遵守状況

1. 環境関連法規等の厳守状況（H23.11.1現在）

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用される法規制	適用される主な内容	適用される施設等	評 価
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の分別保管管理、 処理委託契約・マニフェスト管理	一般廃棄物 産業廃棄物	○
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法)	・コンクリート塊・アスファルト塊、土砂、 木材等の減量化及びリサイクル ・パソコン等の自主回収、再資源化協力	産業廃棄物 パソコン等	○
家電リサイクル法	適正処理と処分時の リサイクル料の支払い	冷蔵庫・テレビ エアコン	－
騒音規制法	特定建設作業の届出 特定施設の届出	バックホウ80kw以上 攪拌機3.7kw以上等	－
振動規制法	特定建設作業の届出 特定施設の届出	舗装版破壊機 くい打機等	－
自動車リサイクル法	適正処理と処分時の リサイクル料の支払い	自動車	－

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は、3年間ありませんでした。



総合評価

【二酸化炭素排出量の削減】

社員一丸となってエコドライブを心掛けるようになった成果が出て、燃料使用料による二酸化炭素排出量は13.2%削減することができた。
電気使用料については0.8%増えてしまい、目標未達成であった。引き続き空調の適切な温度管理を徹底していく。

【アスファルト塊・コンクリート塊のリサイクル率100%維持】

アスファルト塊・コンクリート塊ともに、リサイクル率100%維持を達成することが出来た。引き続きリサイクル率100%を維持していきたい。

【水使用量の削減】

それぞれ節水は気をつけていたが水使用料は31.4%と大幅に増加してしまった。降灰が続く、洗車や水撒き回数が増えたことが原因と考えられる。出来るかぎり雨水や川の汲み水を利用することと節水シーンを増やし、意識を向上させていく。

【地域環境保全活動】

主に地域学校等の清掃や草刈、グラウンド整備等を実施し、地域環境保全に貢献できた。今後は地域のゴミ拾いなども増やし、引き続き積極的に活動していく。

【代表者による評価と見直し】

社員一丸となってエコアクション21の取り組みに参加したことにより、二酸化炭素排出量の減少・アスファルト塊・コンクリート塊のリサイクル率100%維持・地域環境保全活動参加への目標を達成することができました。

しかし、各自の節水意識が薄いこともあり、降灰に対する節水を改めて話し合い、今後の課題として取り組んで参ろうと考えております。

国治建設 株式会社

代表取締役 **福田 国治**